

## 特集 "Sa-house"



秋田市内で開発分譲された住宅地に建つ、ローコスト小住宅です。

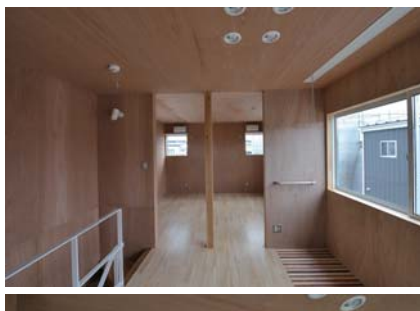
限られた予算の中で、本当に必要なもの、不要なもの、後からでも施工可能なことをシビアに取捨選択し、なおおききたりなお仕合せの住宅よりもオリジナルな空間を求めるクライアントのための住宅です。

単体で高価な材料、高級な材料や特別なオーダー品等は一切無く、ごく普通の施工者が通常簡単に入手可能な材料ばかりで施工されています。

子供はまだおらず、そのような部分は間仕切壁も建具もなく、大雑把な1つの「スペース」として確保されています。

ローコストとはいえ、断熱気密・構造強度の部分は通常グレードの住宅と全く同じ仕様であり、深夜電力による土壌蓄熱暖房を備えています。

西・北側の2面が道路に面し「住宅の裏」の部分も他の分譲敷地からよく見えることから、ランダムな窓の配置で「裏」の部分にも表情を持たせました。



## 第15回JIA東北建築学生賞 報告

去る11月8日(火)仙台市青葉区の仙台メディアテークにて、標記建築作品コンクールが開催されました。

東北の大学・短大・高専・専門学校など13校から37作品のエントリーがあり、東北各県の6人の建築家によって審査が行われました。秋田県からは、私が審査員として参加させていただきました。

今年は3月に東日本大震災が発生し、それに関わる作品も多く出品されたことが大きな特徴でもあり、関連案と無関連案のテーマの重み付の判断が難しい審査になりました。

最優秀賞1点・優秀賞2点が選出されましたが、結果として3点とも何らかの形で震災に関連したテーマを持った作品でした。受賞された学生の皆様、おめでとうございます。



審査会



最優秀賞 TRANSFORM 暮らしの記憶

優秀賞  
積層する街優秀賞  
郊外 × 耕農 =  
育つまちみたその

## スタッフの日常・非日常 vol.42



「トマムリナー」水の敷設」通過



「花畑牧場」通過...天気だけは良い

ちょっとお休みを頂いて「研修旅行」に行ってきました。というのも、無料往復+宿泊つき招待券が当たったのです！限研吾設計の実験モデルハウスが北海道の大樹町に完成したので、その記念サミットにどうぞ、という訳です。

ラッキーだ！いざ「トステム主催MEMサミットツアー」！

さて、八戸集合フェリー泊で9時間+バスで5時間。

過酷だ...このツアーに自由時間などありませんでした。

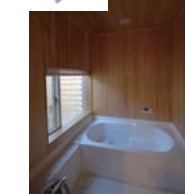
移動がサミット時間しかない。天気の良さなど無意味。

13時、やっとつきました。畑だらけの田舎町です。

そして、サミット開始まで一時間。さーてじゃあそのモデルハウス見よーっと。このホールの近くにあるのかな？

「ここにはないです。」……えっ？まさか。うそだろ？…

## 今月のマテリアル



## ハーフバスルーム

ユニットバスとはTOTO等のメーカー既製のバスルームのようですが、これは下半分だけユニットバスになっている製品です。

そのため、上半分は自由な仕上げが可能です。ヒノキ壁やタイル仕上げなど、ユニットバスの防水性を活かしたまま、個性ある浴室に出来ます。設計事例では、HK-Houseにおいて、壁・天井がヒノキの浴室として、ハーフバスルームを採用しました。

## 編集後記

みなさん、こんにちは。

早くも11月。このスピードは何なのでしょう？呆れるほどの速さで時間が過ぎていきます。

前回のニュースレターも昨日配信したばかり、という印象なのですが・・・

さて、先日ブログにも書きましたが、11月3日に仙台オフィス開設1周年を迎えることができました。迎えることができた、と言うよりは1年が一瞬の出来事だったようにも思えます。心情や感謝の気持ちはこちらのブログの通りです。

この1年、最も印象に残っているのはやはり震災に関することです。3月9日伏線として東京で地震に遭い、3月11日(金)午後2時46分、仙台オフィスで打合せ中に震災に遭遇。3月24日に震災後初めて仙台に戻ったのですが、その日が東北自動車道も全線再開の日でした。現在は東北自動車道は本格的な復旧工事が始まり、正常な姿に戻つつありますが、今にして思えば再開後は本当に酷い道路状況でした。よくこんな危険な状況で開通するな・・・という印象でした。

仕事・プライベートとも、自分の時間はますます無くなり、「人生の中での時間の無さ」を日々更新しているような感じです。(笑)このような状況に対応できる体制やシステムについて考えることが、次のステップへのテーマだと思っています。

正直、疲れていますし常に眠いのですが、ウエイトも安定し体調はとてよいです。(笑)

それでは次回どうぞお楽しみに。



今月の加藤一成  
10月のある日曜日。竣工写真撮影に息子を連れて行き、しばし戯れる。

## Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315

FAX. 022-739-8932 018-831-4316

HP. <http://www.issei-design.com/>

BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>

MAIL. [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)